



安心・安全なまちづくり

地域社会全体で見守ります

「下妻市高齢者等見守りネットワーク事業連携協定締結式」

市は3月27日、市内の民間事業者や各種団体等と連携し、高齢者や障害者、児童を地域社会全体で見守る体制づくりを進めようと、「下妻市高齢者等見守りネットワーク事業連携協定」を30の事業者と締結しました。

要支援者の発見・通報から支援に至るまで、市と連携して「見守りネットワーク」を実施できる事業者・団体等を今年2月から約1カ月間募集したところ、今回の30事業者から申し込みがありました。

市役所第二庁舎で行われた締結式で事業者を代表してあいさつした、いばらきコープ生活協同組合の佐藤洋一・代表理事理事長は、これからは高齢者や一人暮らしが増えてくることを踏まえ、「一人暮らしになっても、一人ぼっちにさせない。誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献していきたい」と力強く抱負を語りました。

市では、今後も引き続いて見守りネットワーク事業の賛同者を募り、見守りの輪を広げていきます。



安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいきます

No.	協力機関・団体・事業者等
1	茨城県下妻警察署
2	下妻消防署
3	日本郵便株式会社 下妻郵便局
4	社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会
5	下妻市民生委員児童委員協議会
6	下妻市老人クラブ連合会
7	株式会社 常陽銀行 下妻支店
8	株式会社 常陽銀行 下妻東支店
9	株式会社 常陽銀行 千代川出張所
10	いばらきコープ生活協同組合
11	よつ葉生活協同組合
12	生活協同組合パルシステム茨城
13	総合警備保障株式会社 茨城支社
14	株式会社 あおほ
15	社会福祉法人 仁済会
16	株式会社 アシエンダ
17	軽部病院
18	有限会社 なかぼし
19	デイサービス監監
20	サービス付高齢者向け住宅こいち下妻
21	有限会社 ヘルスケアー下妻
22	特別養護老人ホーム 愛宕園
23	ハートワン大宝
24	有限会社 スマイル スマイル指定訪問介護事業所
25	下妻デイサービスあおやま
26	つくばケアセンター 訪問リハビリテーション
27	平石牛乳店
28	有限会社 峯商店
29	フルヤ牛乳千代川販売店
30	第一環境株式会社

受賞者紹介



国土交通大臣表彰

木村 進さん
(肘谷)

国土交通大臣表彰（観光関係功労）を受賞した木村進さん（肘谷）が4月24日、稲葉市長を表敬訪問しました。

木村さんは、市内で旅行業を営む一方、全国旅行業協会理事や茨城県旅行業協会会長を歴任するなど、多年にわたり観光関係事業に精励された功績により受賞されました。

温かい善意ありがとうございます

常陽銀行下妻支店から防犯ブザー寄贈

入学式を前にした3月30日、市内9小学校の新1年生に常陽銀行下妻支店から防犯ブザーが寄贈されました。

櫻井紳一支店長が市役所を訪れ、「市内の子どもたちが元気で安全に学校生活を送っていただければ何よりです」と防犯ブザー400個を寄贈。稲葉市長、青柳教育長が出席して寄贈式が行われました。子犬をかたどったLEDライト付きの防犯ブザーは4月6日の入学式当日、新1年生全員に配布されています。平成17年から続く同社の防犯ブザー寄贈は今年で11年目を迎えました。



櫻井支店長(左)から稲葉市長(中)に目録、青柳教育長(右)に防犯ブザーが手渡されました

有料広告欄



ホタルの幼虫を優しく池に放流する子どもたち

早く大きくなってね

ホタルの幼虫放流式 3月29日

ビアスパークしもつま内のほたるの里で行われた「ホタルの幼虫放流式」に、市内の親子など約20人が集まりました。

放流式は、下妻ほたるの会（寺尾法誉会長）が平成18年から続けている事業で、ホタルを通じて自然環境の大切さを学ぶとともに、ホタルをビアスパークしもつまの新たな集客の目玉にして活性化させることを目的としています。

「ホタルの幼虫は思ったより大きくて黒く、触ったら柔らかくてびっくりした」と、初めてホタルの幼虫に触れた下妻ボーイスカウト所属の村山怜緒くん（下妻小4年）。自然の大切さを肌で感じながら「成虫になったら、見に来たい」とホタルが舞う夏の夜を待ち望んでいました。

ほっとしポライン Hot Repo Line 市民の声

地域住民が気軽に集い、レクリエーション活動などを通じて、交流のできる場としての「たまり場」設置運営事業などに取り組むNPO法人「ゆいの会」で理事を務める小林さんからの便りを紹介します。

「ゆいの会」は昨年春、赤い羽根共同募金地域助成事業として市内見田の空き家となった民家を借り受け、どなたでも気軽に集える「たまり場ゆい」を開設しました。

そして12月にはNPO法人の認可を受け、公的機関から福祉事業を受託できるよう力を蓄えつつあります。

今、「たまり場ゆい」は週2回、火曜日と木曜日の午後オープンしています。火曜日は「健康麻雀」がメインですが、木曜日には「歌う」「食べる」「お話を聞く」「DVDを観る」など多彩なメニューが展開します。特にしぼりはありませんから、好きなプログラムに参加するため、市内各地から各回10人程度の方々がマイカーで集まってきました。リタイアされた方、一人暮らしの方、障害を抱える方など、30代から90代と幅広い年代にわたっているのもこの会の特徴です。2月には茨城町社会福祉協議会から27人のお客様が視察にみえました。

何歳になっても「新たにつながる」

特に人気のある「健康麻雀」は、このところ2卓では足りなくなりました。最初はこたつを利用していたのですが、足の不自由な方が腰掛けて楽しめるようにと、器用な方が腕によりを掛けて麻雀卓を作ってきてくださり、回を重ねるごとに参加者がますます仲良く元気になってきているのはうれしい限りです。

人は誰でも「絆」と「生きがい」が得られる「居場所」が必要です。そして私たちは何歳になってもきっかけがあれば「新たにつながる事ができる」と強く思っています。

関心のある方は、「ゆいの会」代表・小貫悦子（☎090-4959-5489）までご連絡ください。



飲まない・賭けない・采けない「健康麻雀」は初心者大歓迎。会話をしながら、楽しいひとときを過ごす参加者

有料広告欄

有料広告欄